

2023(令和5)年度

学生募集要項

大学院複合芸術研究科

博士課程

【注意】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、募集要項に記載の実施方法とは異なる方法で選抜を行う場合がありますので、最新の情報は大学ウェブサイトを確認してください。

秋田公立美術大学

AKITA UNIVERSITY OF ART

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（博士課程）学生募集日程

試験区分	一般選抜
募集人員	2名
出願期間	2022年10月6日(木)～10月13日(木)
一次選考	書類審査 一次選考（書類審査）において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付する。
二次選考	2022年11月5日(土) ※オンライン 13:00～18:00 面接（口頭試問含む）
合格発表	2022年11月14日(月)
入学手続期間	2022年11月18日(金)～11月25日(金)

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（博士課程）概要

■教育目的及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本課程は、現代芸術を「複合の視点」から理論化を試みる研究を行うことで、現代芸術領域及び社会に新鮮な視点や思考の転換を発信し、新たな道筋を示しながら現代芸術領域の拡張と持続可能な社会の構築に広く貢献する表現者、リーダー及び研究者を育成することを教育目的とする。

この目的を達成するために本課程が求める人材像は次のとおりとする。

- ① 複合の視点から自立した研究に取り組み、表現手法の拡張や現代芸術の理論化を探求していく人
- ② モノ・コトの成り立ちを解析し、領域を横断する高い観点から、自らの創造性や思考の転換に基づく成果によって、芸術領域及び社会に新たな価値を提示する人
- ③ 現代芸術の研究を通じて、複合の視点からの理論化に取り組み、「複合芸術」の体系化を担っていく意欲のある人

■教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程の教育目的達成に向けた基本的な教育課程編成等の考え方を、以下にカリキュラムポリシーとして示す。

- ① モノ・コトの複合性を要素単位で紐解く自立した研究を通じて、自らの分析力と解析力で現代芸術のみならず社会的事象の本質を捉える力を養う。
- ② 表現と理論双方からの研究を通じて、複合の視点に基づく発想の転換や理論の応用を新たな表現や課題解決策につなげる力を養うとともに、表現と理論が相互に裏付けされた研究成果を導く。
- ③ 複合の視点からの研究を通じた表現や理論の成果を社会に広く発信する力と、実社会に適用させ人々を巻き込む求心力を養う。

■学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程の修了に際しては、以下の能力を備えることを基準とする。

- ① 複合の視点からモノ・コトを要素単位で分析、解析し、現代芸術に限らず、社会的な課題等に関しても事象の本質を捉える能力
- ② 表現と理論の双方から多面的にモノ・コトを捉えながら、発想の転換や理論の応用をもとに、現代芸術及び社会に新しい視点を提示できる能力
- ③ 複合の視点からの学際的な研究に取り組み、その成果を社会に発信・適用していくことで、人々を巻き込みながら現代芸術や地域を牽引していく能力

■研究科名及び学位

研究科名：複合芸術研究科[Graduate School of Transdisciplinary Arts]

専攻名：複合芸術専攻[Course of Transdisciplinary Arts]

学位：博士（美術）[Doctor of Art]

■研究指導教員一覧

専 門	指 導 教 員
デザイン史／美学／芸術学	天 貝 義 教 教授
現代美術／アートプロジェクト／ アートマネジメント	藤 浩 志 教授
インスタレーション／映像／ 多文化芸術調査	岩 井 成 昭 教授
インテリアデザイン／ファニチャーデザイン ／プロダクトデザイン	今 中 隆 介 教授
アーバニスタディーズ／地域資源マネジメ ント／東南アジア地域研究	岸 健 太 教授（研究科長）
情報学フロンティア／計算基盤／地理学	飯 倉 宏 治 教授
芸術人類学／神話学	石 倉 敏 明 准教授
映像／メディアアート	萩 原 健 一 准教授
哲学／文化人類学	唐 澤 太 輔 准教授
美術批評	福 住 廉 准教授

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科（博士課程）学生募集要項

1 募集人員

複合芸術研究科複合芸術専攻 2名

2 標準修業年限

3年

3 出願資格

【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の出願資格審査により認めた2023年3月31日までに24歳に達する者

※出願資格(6)、(7)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続きを要するため、必ず事前に学生課に申し出て、指示を受けたうえで、2022年9月5日(月)までに必要書類等を提出してください。

4 出願書類等(必要書類の所定様式は全て本学ホームページからダウンロード出来ます。)

	出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
(1)	入学志願票・受験票・研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく黒のペンかボールペンで記入してください。 ・写真欄に3カ月以内に撮影した無帽上半身のものを貼付してください。 ・研究計画書はパソコン等による印字を可とします。所定様式は、本学ホームページからダウンロードできます。(フォントサイズは9~11ポイントとしてください。)
(2)	出願資格を証明する書類および成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学等の修了(見込)証明書および成績証明書 ※外国語の証明書は、英語訳または日本語訳を添付してください。
(3)	入学検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料17,000円を本学所定の入学検定料振込用紙を使用して金融機関で振り込み後、入学検定料納付証明書(大学提出用)を入学志願票の所定の貼付欄に貼付してください。
(4)	受験票等返送用ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の受験票等返送用ラベルに、受験票送付先の住所、郵便番号、氏名等を記入してください。
(5)	書類審査関係書類	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査を行うための資料を以下の①~②から一つ以上選択して提出してください。また、<u>作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を必ず貼付</u>してください。併せて、PDFデータをメールに添付し、件名に氏名と作品・論文名を記載したうえで renraku@akibi.ac.jp に送付してください。 ① ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3~5点までまとめたもの。ポートフォリオの大きさはA4版、またはA3版とし、各作品に関する解説文を付すこと。なお、実作品はポートフォリオとして認めない。映像作品を提出したい場合は予め受験者自身が適切と思われる方法を選択し、ウェブ上にアップロードの上、確認できるURLを記載して送付すること。様式は自由。 ※返却を希望する場合は、(4)の封筒とは別に、返却用の着払い伝票(郵便番号、電話番号、住所、宛名を記載したもの)を提出書類と同封すること。その際は伝票番号を控えておくこと。 ② 論文 過去5年以内に執筆したもの。修士課程以上の学位取得論文、または同等の論文。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※2023年3月に修了見込みの者は、研究分野に関する論文、もしくは修士課程以上の学位取得論文(草稿可)。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。
(6)	在留カード等 ※外国人留学生のみ	<ul style="list-style-type: none"> 日本に居住している外国人留学生は、在留カード(表裏両面)または外国人登録証明書の写しを提出してください。 在留カードを持っていない場合は、パスポートの写し(顔写真、氏名が記載されているページ)を提出してください。
(7)	日本語能力に関する証明書 ※外国人留学生のみ	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生は、次のいずれかの書類を提出してください。 なお、日本の大学を修了、修了見込の者は除きます。 ・「日本語能力試験(JLPT)」の認定結果および成績に関する証明書の原本。(N1または1級以上と同等程度が望ましい)

5 出願受付期間

2022年10月6日(木)～10月13日(木) (必着)

※郵送による出願は、出願締切日必着とします。直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします(土曜、日曜、祝日を除く)。

6 出願提出方法

出願書類一式を本学大学院ホームページ (<https://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>) からダウンロードし、必要事項を記入の上、任意の封筒の表紙に【大学院出願書類在中】と朱書きし、書類審査関係書類(ポートフォリオまたは論文)と一緒に書留速達郵便で郵送するか、直接持参してください。また、書類審査関係書類(ポートフォリオまたは論文)はPDFデータでも提出 (renraku@akibi.ac.jp) すること。

送り先 〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号

秋田公立美術大学事務局学生課

TEL : 018-888-8105

7 一次選考(書類審査)結果の通知

上記の出願手続を行った者のうち、本学大学院が、受験資格を有すると認定し、一次選考(書類審査)において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付します。また、一次選考において不合格となった者には、その旨を通知します。

8 試験日程および試験内容

	出願期間及び試験日時		試験内容および試験方法
一 次 選 考	出願期間 2022年10月6日(木) ～10月13日(木)	書類審査	①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。 ※A4版、またはA3版とする、解説文を付すこと ②論文 過去5年以内に執筆した修士課程以上の学位取得論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ※2022年3月に修了見込みの者は、研究分野に関する論文、もしくは修士課程以上の学位取得論文(草稿可)。 ※ <u>作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を貼付してください。</u>
二 次 選 考	2022年11月5日(土)	13:00～18:00	面接(口頭試問含む)(オンライン) 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、20分程度の質疑応答を行う。

9 選抜方法

面接(口頭試問含む)および研究計画書、成績証明書等を総合して判定します。

〔送付先〕 〒010-1632 秋田市新屋大川町 12 番 3 号

秋田公立美術大学 事務局学生課 宛

※封筒には「入学検定料返還申出書在中」と朱書きしてください。

(2) 請求期間

返還請求は出願期間終了から 1 週間以内に行ってください。請求書類の受領後、返還金の振込みまでは約 1 か月かかります。

16 試験成績の照会

受験者本人からの照会に対してのみ回答します。希望者は、下記の期間に本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（免許証、健康保険証、パスポートなど）を郵送または持参してください。（一次選考不合格者は受験票不要）

郵送の場合は、本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（同上）のコピー、長形 3 号の返信用封筒（受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記載し、84 円分の切手を貼付したもの）を同封のうえ、照会してください。

※請求期間：2023 年 5 月 1 日(月)から 5 月 31 日(水)まで（土曜、日曜、祝日を除く）

17 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、「公立大学法人秋田公立美術大学個人情報保護規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理および選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係業務（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

18 受験上の注意事項

- ・オンライン試験は、オンライン会議システム Zoom を使用して実施します。あらかじめ必要なアプリケーション（最新のもの）をダウンロードしてください。
- ・パソコン等の通信機器とインターネットに接続できる環境を用意し、試験時には個室で受験者のみに対応するような環境を整えてください。事前に接続テストを行いますので、その際も同じ環境で行ってください。
- ・試験に使用できる通信機器は 1 台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにしてください。
- ・試験の接続時間は本学が指定し、決まり次第受験者へ連絡します。
- ・試験当日は、指定時刻にオンライン会議に接続できるよう余裕を持って待機してください。
- ・試験当日は、本学受験票を携帯してください。
- ・試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、直ちに大学に申し出てください。
- ・試験中は監督者の指示に従うこと。

- ・試験中の録画・録音は禁止します。
- ・通信機器が接続不可能となった場合は大学と連絡をとり、指示を仰いでください。
- ・試験中に不正行為が発覚した場合は失格となります。
(不正行為の例：受験者以外の者の協力や試験内容を第三者へ公開できる状態にする等の円滑な試験実施を阻害すると見なされる一切の行為)
- ・受験票が試験日7日前になっても到着しない場合は、本学事務局にお問い合わせください。
- ・受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も保管しておいてください。

19 入学前の研究指導相談の実施について

本課程においては、現代芸術を「複合の視点」から理論化・体系化を試みる研究を行うことで、現代芸術領域の拡張と持続可能な社会の構築に寄与することを目的としています。それに伴い、入学対象としている者については、本学修士課程修了者に限らず、現代芸術の現場で活動する作家や社会人等の美術関係者も対象としており、多種多様な分野、領域からの研究テーマの設定を想定しています。

これらの者に対し、入学希望者が本課程において実践しようとする研究計画を事前に相談の上、本課程における教育・研究目標に則した研究内容であるかを事前に志望する研究指導教員から研究計画や修学に関する相談ができる機会を提供するため、出願前に「入学前の研究指導相談」の受付を実施します。

本学大学院ウェブサイト (<https://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>) の【お問い合わせ】から必要事項および相談内容を記入の上、メールにてご連絡ください。相談内容を確認の上、お返事いたします。

20 履修課程および修了要件

教育課程の概要

科目区分	授業科目	履修単位		
		必修	選択	合計
研究基盤科目	複合芸術研究法	1		17
研究展開科目	複合芸術表現研究Ⅰ	2		
	複合芸術理論研究Ⅰ	2		
	複合芸術表現研究Ⅱ	2		
	複合芸術理論研究Ⅱ	2		
研究指導科目	複合芸術特別研究Ⅰ	2		
	複合芸術特別研究Ⅱ	2		
	複合芸術特別研究Ⅲ	4		
履修方法および修了要件				
研究基盤科目1単位、研究展開科目8単位、研究指導科目を8単位、合計17単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、「博士論文」または「博士論文及び研究作品」の審査及び最終試験に合格すること。				

21 交通アクセス・キャンパスレイアウト



大学までの交通機関

- バス** 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
 秋田中央交通バス「新屋線」 美術大学前下車（乗車約25分） 徒歩1分
- 鉄道** JR秋田駅下車 秋田駅西口から秋田中央交通バス乗り換え
 JR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- 航空機** 秋田空港から リムジンバス 秋田駅西口下車（乗車約45分）
 秋田駅西口から 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
 秋田中央交通バス「新屋線」 美術大学前下車（乗車約25分） 徒歩1分
 又はJR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- 自動車** 秋田自動車道 秋田南ICから約15分

秋田公立美術大学

〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号

TEL 018-888-8105 FAX 018-888-8101

<https://www.akibi.ac.jp>